

歯車

学校だより

河北町立西里小学校

令和三年三月三十一日

もう一つの卒業証書

校長 船山 聡

六年担任から、「卒業式の前日に、ちよつとの時間でいいので教室に来ていただけませんか。」という話がありました。

「子ども達が自分たちで考えたことがあるらしいので。」

卒業式の前日は、少し肌寒い体育館で、朝から修了式が行われました。私は、学年ごと子ども達に向けて話をしました。

一年生、十五名のみなさんの入学式には、在校生がだれも出席できませんでした。でも、みなさんは元気いっぱい入学してきましたね。二年生になつたら、九名の一年生に学校のことをいろいろ教えてください。

二年生、九名のみなさんは、グラウンドの朝日山で、どの学年よりも最後までそり滑りをして楽しんでいましたね。三年生になつたら、下校の時は一年生や二年生のことをよろしく願います。

三年生、二十二名のみなさん。今年は町の音楽会がなく、歌を発表することができませんでした。来年もできないのです。みなさんの元気な歌声が聞きたかったです。明日の卒業式で、元気な歌声を聞かせてください。

四年生、九名のみなさん、勉強の時、教え合いがとても上手でした。ね。先日見せていただいた英語の劇も大変上手でした。いよいよ高学年になります。委員会活動やクラブ活動も始まります。がんばってください。

五年生、二十名のみなさんは、いつも元気よく遊んでいました。みんな

で遊ぶということはとても大事なことです。遊びを通して、けんかしたり、仲間と笑い合ったりして、だんだん仲良くなっていけます。体育館やグラウンドでみんながいっぱい遊ぶような西里小学校にしてください。

六年生、十九名のみなさん。毎朝教室に入ると、黒板にはられた「あと何日」という紙に書かれていた思い出の詩を読むのが楽しみでした。明日はりっぱにこの西里小学校と在校生と先生方にお別れしてください。

みなさんの進級・進学を認めます。おめでとうございます。

二校時、約束通り六年教室に入ると誰もいなくて、前日に五年生が裝飾してくれた教室を眺めていました。まもなく六年生の声が出て、あわてて廊下に出ると、男の子が「待ちましたか？」と聞くので、「今来たばかり。」と言うと、「デートでよく言うセリフだ。」と言う声が聞こえました。

教室に入ると担任の先生から「子ども達が、校長先生にお渡ししたいものがあるそうです。」と言われました。私が黒板の前に立つと、向かい側に女の子が立ち、私の卒業証書を読み上げられました。続いて男の子から寄せ書きをもらいました。「船山 聡先生へ」と名前が中央に書かれてあり、その周りに子ども達からの感謝の言葉がはられていました。

「校長先生のおかげで、さまざまな行事ができました。たくさん思い出ができました。今までありがとうございます。」という内容でした。

「それでは、校長先生から一言、願います。」と担任が言うので、感謝の言葉を言おうとしたら、涙があふれた。

西里は、美しいところです。

教頭二年、校長三年、大変お世話になりました。

感謝の言葉しかありません。

ありがとうございます。

